

報道関係者各位

**国内最大級の e スポーツ大会  
「RAGE Shadowverse 2020 Autumn GRAND FINALS powered  
by AQUOS」  
1 万人を超える挑戦者の中から勝ち抜いたファイナリスト 8 名の  
頂点に立ったのは Shimon 選手！  
前回の雪辱をはらし、見事念願の優勝トロフィーを獲得！！**

2020年9月6日（日）、株式会社 CyberZ とエイベックス・エンタテインメント株式会社、株式会社テレビ朝日が共催する、国内最大級の e スポーツイベント『RAGE Shadowverse 2020 Autumn GRAND FINALS』が開催されました。見事優勝したのは、「RAGE Shadowverse 2020 Spring GRAND FINALS」で後一步届かず準優勝という、雪辱をはらした Shimon 選手となりました。また OPENREC.tv、YouTube、ABEMA にて配信した生中継番組の総視聴者数は、約 65 万人を記録しました。



1 万人を超える挑戦者がエントリーし、オンライン予選からはじまり 2 ヶ月弱の長い頭脳戦を極めし 8 名の強者たちが集った本大会は、優勝者には賞金 400 万円、準優勝者には 100 万円が用意され、さら到来年 2021 年開催予定の世

界大会「Shadowverse World Grand Prix 2020」への出場権が手に入ります。スタジオゲストには自身もゲーム好きという大原優乃さんが出演し会場に華を添えていました。そしてゲストコメンターには前回大会「RAGE Shadowverse 2020 Summer GRAND FINALS」で優勝を飾った西野選手と、同大会にてファイナリストに残ったリグゼ/G×G 選手も出演し、各試合の展開や状況について解説をしました。

## ■ RAGE Shadowverse 2020 Autumn GRAND FINALS

### 【第 1 試合】

○fee 選手 vs ●あられ選手



東大卒にして将棋歴 25 年、アマチュア全国大会で準優勝の経験もある fee 選手のその鍛え上げられた頭脳に対するは、友人との遊びで負けたことをきっかけに、ダーツのプロ資格を取得するほど負けず嫌いな性格のあられ選手。第 1 戦、BO5 が不慣れと語っていた fee 選手ですが、蓋を開けてみればヴァンパイアデッキを操り、電光石火で見事な先勝を上げると、次のバトルも落ち着いた展開で連取しました。そんな安定した fee 選手の前に苦戦を強いられていたあられ選手ですが、fee 選手の最後の砦「ラービショップ」に対して有利に試合を運ぶことができる「リンクルキャルウィッチ」で何とか 1 本返すと、続く 4 バトル目、お互いがお互いの戦略をケアしあう非常にハイレベルな戦いとなりました。激戦の 4 戦目をあられ選手制し、フルセットとなった 5 バトル目。あられ選手の「アーティファクトネメシス」に対して fee 選手の「ラービショップ」によるフォローの消滅効果を最大限に生かした戦略で、見事 fee 選手が勝利しました。勝った瞬間、画面モニターに向かって深々とお辞儀をする姿に、オンライン上でも賞賛するコメントがたくさん投稿されていました。



## 【第2試合】

●mitsuya 選手 vs Osuuuum 選手



mitsuya 選手は 2 大会連続でファイナリストとなった超強豪。前回大会ではプロチーム「G x G」所属のリーグゼ選手に初戦で敗れてしまいましたが、今大会ではそのリーグゼ選手から「mitsuya は俺より実力は上」と言わしめるほどの練習量で今大会に臨みました。対する suuum 選手は京都大学卒で現在は京都大学大学院で化学の研究をするインテリジェンスプレイヤー。1 戦目は mitsuya 選手が「バアルヴァンパイア」で猛攻を仕掛け先勝。続く 2 戦目の「ネクロマンサー」同士の戦いは、「ハデスネクロマンサー」を採用した suuum 選手が取り返し、一進一退の攻防が続きます。3 戦目は事前評価が非常に高かったデッキ「ルーニ式神ウィッチ」が今大会初登場。suuum 選手がこのデッキの強みを最大限に活かして勝利しました。mitsuya 選手も負けじと続く 4 戦目、「葬送ネクロマンサー」による盤面制圧で suuum 選手を跳ね返し、勝負はフルセット 5 戦目へともつれ込みました。最終戦、中盤までは mitsuya 選手の「ルーニ式神ウィッチ」の「陰陽の開祖・クオン」による猛攻が続きますが、suuum 選手が「進化ロイヤル」を見事に操り、形勢を大逆転。激戦を制し準決勝へと駒を進めました。試合後に震えた声でインタビューに受け答える suuum 選手の姿が、いかにこの熱戦が過酷なものか物語っていました。

## 【第3試合】

●のん|DRS 選手 vs ○咆哮のラム選手



20歳という今大会参加選手の中で最年少ながら、予選1位通過という勢いのあるのん|DRS選手と、自らをシャドウ・バーサーカーと名乗るほどシャドバ愛に溢れ、RAGE優勝を悲願として努力を続けてきた咆哮のラム選手の対戦となりました。1戦目はのん|DRS選手の「バアルヴァンパイア」と咆哮のラム選手の「アーティファクトネメシス」の戦いに。序盤はのん|DRS選手が積極的に仕掛けますが、咆哮のラム選手が見事に捌ききって先勝しました。続く2戦目、咆哮のラム選手の「進化ロイヤル」の戦略がバッチリはまります。「戦争商人・アルヤスカ」を4ターン目から押し付け、のん|DRS選手の「コントロールエルフ」での処理が難しい展開に持ち込んで見事2連勝。3戦目は咆哮のラム選手の「ルーニイ式神ウィッチ」がこれ以上ないといえるような動きで、のん|DRS選手を圧倒。見事3連勝で準決勝に進出しました。試合後はインタビュアーの大原優乃さんから「愛の力を感しました」と声を掛けられ、新婚の咆哮のラム選手は「間違いないです」と配信を見守る奥様に感謝を届けていました。



## 【第4試合】

●すんすん選手 vs ○Shimon選手



思い切った駆け引きで逆境をものにするそのプレイスタイルから奇術師（イリュージョニスト）とも呼ばれるすんすん選手。対するは、素早い最適解に裏付けられた迷いのないプレイスタイルで本大会の優勝候補筆頭とも言われる Shimon 選手。試合前のコメントでは両者とも一言『勝ちます』とだけ答えて始まった1回戦第4試合は、本大会3度目のフルセットの大激戦となりました。1戦目、すんすん選手の「進化ロイヤル」に対して、今大会唯一の採用となっていた Shimon 選手の「妖怪ハデスネクロマンサー」が登場。7ターン目に「冥府への道」の起動に成功し、そのまま先勝となりました。2戦目、今大会で猛威を奮っている「バアルヴァンパイア」に対して、すんすん選手の「進化ロイヤル」がリベンジ成功。続く3戦目は、回復手段が乏しい「葬送ネクロマンサー」に Shimon 選手の「バアルヴァンパイア」が押し切り、一進一退の攻防が続きます。4戦目、準決勝進出に王手をかけた Shimon 選手でしたが、すんすん選手の「ルーニイ式神ウィッチ」が立ちはだかります。「豪風のリノセウス」のプレイを序盤から重ねて、Shimon 選手有利かに思われた試合でしたが、「陰陽の開祖・クオン」で盤面有利をとったあと、「決意の預言者・ルーニイ」を連打して見事勝利。すんすん選手が最終戦へ望みを繋げました。最後の5戦目、1ターン目から「豪風のリノセウス」をプレイするという割り切ったプレイを展開する Shimon 選手。すんすん選手の「葬送ネクロマンサー」も順調な展開に見えましたが、Shimon 選手の繊細かつ豪快なプレイにより「豪風のリノセウス」で体力を削り切り、見事準決勝進出を決めました。

## 【セミファイナル第1試合】

Ofee 選手選手 vs ●suuum 選手



fee 選手（東大） vs suuum 選手（京大）というインテリ対決となったセミファイナル第1戦。

両プレイヤーとも同じタイミングで胸に手を当てて深呼吸をするという厳かな雰囲気から試合スタートとなりました。1 戦目を「葬送ネクロマンサー」で先勝すると続く2 戦目は「ラービショップ」で14 ターンにも及ぶ見事なコントロールで2 連勝。suuum 選手にとっては、今大会高勝率を残す「バアルヴァンパイア」に対して3 連勝を求められる苦しい展開になりました。

3 戦目、「ルーニイ式神ウィッチ」で勝たないと後に続かないと判断した suuum 選手でしたが、fee 選手の最高のアグロムーブが炸裂。圧倒的な強さで決勝戦進出と世界大会への切符を手に入れました。そしてまたも勝利後、モニターに向かって深く礼をした fee 選手。試合後のインタビューで『自分に対して、落ち着けと言いつけていた』と涙を滲ませながら答えるなど冷静な見た目とは裏腹にプレッシャーを感じていたことを明かしていました。



## 【セミファイナル第2試合】

● 咆哮のラム選手 vs ○ Shimon 選手



セミファイナル第2試合はお互いの実力を見せつけあう展開となりました。1戦目は Shimon 選手の「妖怪ハデスネクロマンサー」、2戦目は咆哮のラム選手の「ルーニ式神ウィッチ」がそれぞれ理想的な試合展開で勝利し、1-1のタイに。3試合目には Shimon 選手お得意の「豪風のリノセウス」によるリーサルが決まり、決勝進出に王手をかけると、続く4戦目では「バアルヴァンパイア」で咆哮のラム選手の「進化ロイヤル」を粉砕。Shimon 選手が見事自身2回目となる決勝の舞台へ駒を進めました。

配信上でも Shimon 選手のプレイングの速さに対する賞賛の声が多く寄せられており、試合後のインタビューでは『もう一度、決勝に進めてうれしく思います』と、早くもグランドファイナルに気持ちを切り替えていました。

## ■ギネス世界記録 授賞式

今年 1 月に幕張メッセで行われた「RAGE Shadowverse 2020 Spring バトルフェスティバル powered by AQUOS」にて「RAGE Shadowverse」は『オンライントレーディングカードゲームを同時に同一会場でプレイした最多人数』というギネス世界記録を達成しました（6,374 人）。そしてさらにもう一つ、『同一会場でプレイしたオンライントレーディングカードゲームの最多エントリー数』という記録で新たなギネス認定を受けることとなりました。



この日、ギネス認定員のジャスティン・パターソン氏が登場し、改めて表彰式が行われました。

### -RAGE 大友プロデューサーコメント

『この記録自体、僕等が取ったと言うよりは大会に参加して頂いた Shadowverse プレイヤーの皆さんのお陰で取れたギネス記録だと思います。皆さんおめでとうございます。今、このような状況で大規模なオフライン大会は出来ませんが、今回オンライン大会で初めて参加された方もいらっしゃると思いますので、来年以降にオフライン大会を実施出来る機会があれば、オフライン大会でしか味わえない熱気等に是非ご期待して頂ければと思います』

### -Shadowverse 木村プロデューサーコメント

『RAGE Shadowverse は大規模な大会であると同時に、同じゲームをやっている仲間と一緒に過ごせるオフ会の様な側面もあります。大会と聞くと難しいイメージがあると思いますが、見に来るだけでも楽しめる内容になっていますので、皆さんにお会いできる機会を楽しみにしています。これからもギネス記録に恥じない様に RAGE Shadowverse を盛り上げていきますのでよろしくお願いします。』



## 【グランドファイナル】

●fee 選手 vs ○Shimon 選手



試合前のバックヤードでは楽しそうに話していたという両選手でしたが、登場した時には既に鬼気迫る表情で臨戦態勢となっていました。これまで持ち前の速いテンポで試合のペースを握ってきた Shimon 選手に対し、あくまでも冷静に対処し続ける fee 選手という“剛と柔”の構図となったグランドファイナル。

1 戦目は、これまで「コントロール」のイメージが強かった fee 選手の印象を一気に変えるような「バアルヴァンパイア」による猛攻が決まり先取。

続く 2 戦目は「妖怪ハデスネクロマンサー」と「ハデスネクロマンサー」によるネクロマンサーミラー対決に。デッキ構成的に盤面展開力で勝る fee 選手が中盤優勢で試合を運びますが、Shimon 選手が「大妖狐・ギンセツ」によってなんとか終盤にもつれ込ませると、9 ターン目に「《恋人》・ミルティオ」と「トート」による 1 ターンキルコンボを炸裂させて勝利を引き寄せます。

してやられた fee 選手でしたが、3 戦目はデッキの出し順を読み切り、先ほど負けてしまった「葬送ネクロマンサー」を再度投入して勝利をつかみ取り、先に優勝へ王手をかけます。

4 戦目は、展開が遅めな「ラービショップ」に対して、ゆっくりと準備を行うことができる Shimon 選手の「コントロールエルフ」が有利なマッチアップ。着実に Shimon 選手が準備を進め、9 ターン目に「豪風のリノセウス」によって 20 点を一気に削り切って、戦いの決着は最終戦へ持ち越されました。

そして迎えた決勝戦フルセットの第 5 戦目、デッキは「最強の矛」Shimon 選手の「バアルヴァンパイア」と、「最強の盾」fee 選手の「ラービショップ」による決勝戦にふさわしいマッチアップとなりました。

デッキ相性的には fee 選手が優勢としつつも、Shimon 選手が「背徳の狂獣」を進化させた 5 ターン目以降、攻勢に

転じます。fee 選手も負けじとフォロワーを消滅させつつ、体力を回復していきますが、迎えた Shimon 選手の 7 ターン目、「バアル」の効果で引き入れた「凶槍の戦士」が fee 選手の体力を削り切り、見事「RAGE Shadowverse 2020 Autumn」のチャンピオンに輝きました。

Shimon 選手の戦いぶりにコメントの盛り上がりも最高潮に。「RAGE」史上に名を残す名勝負となりました。

#### ■優勝者セレモニー ～ エンディング



これまでの 3 試合中、2 試合がフルセットという激戦を制してきた Shimon 選手は、前回出場した「RAGE Shadowverse 2020 Spring GRAND FINALS」にて後一步届かずに準優勝という雪辱を果たし、悲願の初優勝となりました。

#### -Shimon 選手優勝コメント

「応援してくれた彼女に感謝したいです。ありがとうございます。半年の悲願がかなって良かったです。オレがナンバーワンだ」

#### -大原優乃さんコメント

「この大会に関わらせていただき本当に光栄です。優勝した Shimon 選手、本当におめでとうございます」

またグランドファイナルまで進んだ fee 選手も、来年 2021 年開催予定の「Shadowverse World Grand Prix 2020」への出場権、そして賞金 100 万円を獲得しました。



## ■次回予告

「RAGE Shadowverse 2020 Winter」の開催決定が発表されました。1次予選は10月17日（土）、18日（日）の2日間、2次予選は10月24日（土）、プレーオフは11月3日（火・祝）に全てオンラインにて開催予定となっております。12月20日（日）GRAND FINALSは無観客試合として実施する予定です。

## ■「RAGE Shadowverse 2020 Autumn GRAND FINALS powered by AQUOS」概要

大会名：「RAGE Shadowverse 2020 Autumn GRAND FINALS powered by AQUOS」

開催日：9月6日(日)

ゲームタイトル：「Shadowverse」（株式会社 Cygames）

主催：株式会社 CyberZ、エイベックス・エンタテインメント株式会社、株式会社テレビ朝日

トップスポンサー：シャープ株式会社

技術協力：コーユーテクノ株式会社

特別協力：株式会社サイバーエージェント

配信方法：「OPENREC.tv」「YouTube」「ABEMA」

公式サイト：<https://rage-esports.jp/shadowverse/2020autumn>

## ■「Shadowverse」（株式会社 Cygames）

「Shadowverse」は、「フォロワー」、「スペル」、「アミュレット」という3種類のカードで40枚のデッキを編成して戦い、相手リーダーキャラクターの体力を0にしたら勝利となる、スマートフォンで遊べる対戦型オンラインTCG（Trading Card Game）です。2020年現在、日本語を含む9言語が世界にリリースされ、累計ダウンロード数は2,200万を突破しています。競技性の高さを生かし、優勝賞金1億1,000万円の世界大会開催やプロリーグ設立など、eスポーツシーンにも参入しています。

公式サイト URL：<https://shadowverse.jp/>

## ■RAGEとは

RAGE（レイジ）とは、次世代スポーツ競技「eスポーツ」に様々なエンターテインメント性を掛け合わせた、株式会社 CyberZ、エイベックス・エンタテインメント株式会社と株式会社テレビ朝日の3社で協業し運営するeスポーツイベントおよび、eスポーツリーグの総称です。



現在 RAGE では、主にオフラインで開催する一般参加型の「イベント」と、プロ選手による競技をオンラインで配信する観戦型の「プロリーグ」、2つのプロジェクトを実施しています。「イベント」では、複数のジャンルに渡るゲームタイトルが一堂に介し、各タイトルの最強王者を決めるeスポーツ大会のほか、会場限定の大会や新タイトルの試遊会、アーティストライブなども実施しています。国内のトッププレイヤーたちが参加するeスポーツ「プロリーグ」では、「RAGE Shadowverse Pro League」と「RAGE STREET FIGHTER V All-Star League powered by CAPCOM」などのリーグを運営しています。

公式サイト : <https://rage-esports.jp/>

公式 Twitter : [https://twitter.com/eSports\\_RAGE](https://twitter.com/eSports_RAGE)

公式 Facebook : <https://www.facebook.com/eSportsRAGE/>

公式 Instagram : [https://www.instagram.com/esports\\_rage/](https://www.instagram.com/esports_rage/)

#### ■エイベックス・エンタテインメント 会社概要

社名 エイベックス・エンタテインメント株式会社

本社 東京都港区南青山三丁目 1 番 30 号 エイベックスビル

代表者 代表取締役 黒岩克巳

事業内容 音楽、アニメ/映像、デジタルを主要事業とする IP 創造企業のエイベックスにおいて、主に音楽事業を担うグループ会社。レーベル、ライブ、チケット、アライアンス、マーチャンドライジング、ファンクラブなどの幅広いノウハウや機能を活用し、IP の最大化を目指す。

URL <https://avex.com/jp/ja/>

#### ■テレビ朝日 会社概要

社名 株式会社テレビ朝日

本社 東京都港区六本木 6-9-1

代表者 代表取締役社長・COO 亀山 慶二

事業内容 放送法による基幹放送事業および一般放送事業

URL <https://company.tv-asahi.co.jp/>

#### ■CyberZ 会社概要

社名 株式会社 CyberZ

東京本社 東京都渋谷区渋谷 2 丁目 24 番 12 号 渋谷スクランブルスクエア 23 階

代表者 代表取締役社長 山内隆裕

事業内容 スマートフォン広告事業、スマートフォンメディア事業、e スポーツ事業

URL <http://cyber-z.co.jp/>